

# 丹後織物

No.  
**899**

2026.1.1

## TANGOORIMONO

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺3188 TEL 0772- 68- 5211 FAX 0772- 68- 5300 <https://tanko.or.jp>

### 年頭所感

丹後織物工業組合  
理事長

田茂井 勇人



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご清祥のうちに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

顧みますと、昨年は世界情勢の不確実性が高まる中、為替の円安基調による原材料・エネルギー価格の高騰、物価高騰や国内市場の縮小、消費者価値観の変容など、産地を取り巻く環境は一層厳しさを増した一年でした。また、年を追うごとに織物従事者の高齢化に伴う技術継承、織機等の老朽化などの問題が深刻になっており、非常に厳しい状況が続いています。しかし、その一方で持続可能性への意識の高まりや伝統技術を現代の創造価値として再評価する動き、海外ブランドとの協働など、丹後の技術と美意識が新たな注目を集める機会も確実に広がっています。千年以上にわたり、織りの文化を継承して

きた丹後の地にとって、これは新たな飛躍への兆しであると強く感じています。

そのような中、組合の新たな取り組みとしてオープンファクトリーと組合員の様々な製品をご覧いただきご購入いただけるタンゴオープンセンターを開設してから、一年半が経ちました。まだまだ認知度が十分とは言えませんが徐々に来場者も増えつつあり、「絹織物といえば丹後」「消費者に感動を与える商品が生まれる産地」「クリエイティブな商品づくりが可能な産地」として、国内外の流通業者・デザイナー・バイヤーから消費者まで、多くの方々が訪れたくなる丹後を実現するべく本年も取り組んでまいります。

また、組合の共同加工施設においても絹業業界に高品質で安定した製品を供給するために老朽化した設備の更新を進め、さらには加工技術の研鑽・向上を図り、丹後のみならず日本の和装産

業、繊維産業を支える施設としての使命を果たしてまいります所存です。

本年も、産地が長い歴史の中で培ってきた技術と精神を大切にしながら新たな創造と挑戦を重ね、丹後織物の可能性を広げていく一年としたいと存じます。組合員の皆様と関係各位のなお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 未来に向けて輝き続ける 京都づくり挑戦



京都市知事  
西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つづがなく新しい年をお迎えのこととお慶（よろこ）び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会となりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥（ぜあみ）が「風姿花伝（ふうしかでん）」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽（さるがく）を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きまし

た。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容（い）れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしながら結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたたくい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる

技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支（えと）「午（うま）」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一

## 年頭所感



京都織物卸商業組合  
理事長  
房本 伸也

新年あけましておめでとうございます。平素より当組合の活動に温かいご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

振り返れば昨年は、物価上昇による原材料費の高騰や賃上げ対応など、中小企業にとつて厳しい状況が続いた一年でした。エネルギー価格の変動や地政学的リスク、通商政策の不透明さなど世界情勢は落ち着かず、国内でも人口減少による労働力不足や社会格差の拡大など、先行きへの不安が募る場面が多く見られました。一方で、AIをはじめとしたデジタル技術の急速な発展が

つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

新しい社会を切り拓く原動力になるという期待も高まっています。

繊維業界では、国内衣料品市場の縮小を背景に海外製品との価格競争が激しくなり、従来の収益構造が大きく変化しています。各産地では、地域と連携したオープンファクトリーなどの取り組みを通じ、企業同士の新しいつながりや顧客開拓を進め、持続可能な産業を目指した努力が続いています。また、環境負荷が大きいとされる繊維分野では、EUが先導するサステナビリティ関連の取り組みを踏まえ、国内でも衣料品の回収・リサイクル、資源循環システムの整備、環境配慮設計や情報開示



など、取り組むべき課題が山積しています。

当組合は、昨年「京都織商というプラットフォームの活用」をテーマに、振興事業・研修事業・福利厚生事業などに取り組みました。振興事業では「11月15日きもの日」事業、七五三詣りや三まいるの招待事業など、きもの着用品促進や通過儀礼の啓発普及に努めました。研修事業では新入社員研修、金融リテラシー向上セミナー、大阪・関西万博や長崎スタジアムシティの視察などを実施しました。福利厚生事業では、ボウリング大会やゴルフ大会、スポーツ観戦、文化事業など、組合員同士の交流を深める機会を設けました。また、開業6年目を迎えた「アンテナショップ」きものステーション・京都」では、組合員商社の商品紹介やワークショップを行い、国内外からの来店者が年々増えています。

私たち卸売事業者は、産地で丁寧に作られた品々を、小売店を通して全国のお客様に届ける重要な役割を担っています。長い歴史と伝統のもと、多くの事業者が支え合い、それぞれの強みを生かしてサプライチェーンが成り立っています。このバトンをより良い形で次につないでいくこそ、私たちの大切な使命です。今後も共存共栄の関係を強め、皆様と心を一つにして歩んでまいりたいと存じます。

今年の干支「丙午（ひのえうま）」は、火と午が組み合わさった力強い年とさ

れ、情熱や行動力をもたらすとも言われています。このエネルギーにあやかり、皆様とともに着実に、そして大きく飛躍する一年にしていきたいと思います。

## 「連携」と「協働」を進めて「継承」へ



西陣織工業組合  
理事長

小 平 真 滋 郎

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、西陣織業界並びに当組合の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の織物業界を取り巻く環境は、長引く不安定な世界情勢の影響を受けて、生糸をはじめ、燃料や原材料費の高騰など、先行き不透明な状況が続いており、我々産地にとりまして、非常に厳しい対応が求められています。

そのような中において、昨年、我が国始まって以来の初の女性総理大臣が誕生し、期待が高まっています。我々織物業界では女性の愛好家が非常に多いことを鑑み、今まで以上に女性のニーズに敏感に対応していくことが必要であ

結びに、持続可能で活力ある業界の未来を切り拓くため、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

と思っています。

さて、当組合では、本年3月に我々西陣織産地のホームグラウンドとも言えるべき西陣織会館が竣工50年を迎えます。

この建物は、昭和51（1976）年完成しましたが、当時建てられた建物の中で優秀な作品に贈られる「建築業協会賞」に選定されるなど、昭和を代表する建築物であります。

これまでに、天皇皇后両陛下の行幸啓や、ゴルフ大統領夫妻をはじめ、内外からたいへん多くの方にお越しいただき、西陣織の振興に貢献してまいりました。

昨年11月には、竣工50周年を記念して、会館を上から下まで、まるごと使った記念イベント「西陣織博2025」「50周年記念西陣織大会」を開催しましたところ、2日間で3000人を超え

る方にご来館いただきました。

この催しは、今後の西陣織産地を支える若手の組合員が中心となつて、取り組んだもので、将来につなげるきっかけづくりになったのではないかと自負しております。

ご来館いただいた皆様、お手伝いいただいた皆様、また日ごろからお支えいただいている皆様方に改めて御礼申し上げます。

ただ、イベント開催は目的ではありません。あくまで手段であり、この活動を通じて今までの垣根を越えてALL西陣のチームを作ることが大切です。

その目指すべきところは、西陣織の再興、西陣ブランド再構築、持続可能な未来の西陣産地づくりです。

今年は、昭和元（1926）年から起算して満100年を迎えます。国の方でもこれを契機に将来への展望を拓くべく様々な取組がなされるようです。

当組合としても、会館51年目、昭和101年に向けて、力強く一歩を踏み出してまいりたいと考えています。

組合員のみならず関連工程、地域など幅広い層の皆様との連携、協働を進め、その先に未来への継承があると信じております。今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

末尾になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしく願います。

# 年頭所感



株式会社商工組合中央金庫  
京都支店 支店長  
白石 清和

令和8年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は、個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要は好調であった一方で、物価や賃金上昇、金利のある世界への移行、米国の通商政策、AI・ロボティクス技術の急速な進化等、日本経済を取り巻く環境が大きく変化した一年となりました。

当金庫においては、2025年6月の政府保有株式の全部売却完了と改正商工中金法の施行により、民営化という大きな転機を迎えることとなりました。この民営化により当金庫は「中小企業による中小企業のための金融機関」として、そして「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」というPURPOSEの実現に向けた新たなスタートラインに立ちました。

こうした中、今後、私たちがどのような立ち位置で社会と向き合うべきか、どのような価値を創出すべきかという観点で「商工中金グループのありたい姿」の議論を重ね、この度、長期戦略の

骨子を策定しました。その核となる概念が、中小企業を個社として捉えるのではなく、その集合体として捉える「中小企業経済圏」です。

中小企業と地域社会にかかわる多様なステークホルダーが集まる「中小企業経済圏の拡大・活性化を通じて、圏の参加者の価値向上に貢献し続ける」という「商工中金グループのありたい姿」を設定しました。当金庫は、単なる金融機関の枠を超えて「集めて・つなげて・価値を創る」プロデューサーの役割を果たし、中小企業と地域社会にかかわる多様なステークホルダーと、ともに考え、ともに創り、ともに変わりつづけます。

また、中小企業経済圏の拡大に向けて「Industry（産業課題解決）・Innovation（スタートアップ支援）・Investment（エクイティ業務や高度ファイナンス）・Traditional Banking（伝統的な銀行業務の深化）・Turn Around（再生支援）」という5つの注力分野を設定しました。従来の枠組みにとらわれない柔軟でダイナミックな経

営を実現するため、デジタル技術やAIを活用した経営の高度化を推進し、業務の効率化のみならず、お客さまとの接点の質の向上と深い関係性の構築を図ってまいります。

これらの取組みを通じて「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」というPURPOSEの実現を目指してまいります。

おかげさまで商工中金は本年12月に創立90周年を迎えます。この場をお

## 地域、お客さま、職員すべての「しあわせづくり」に向けて



京都北都信用金庫  
理事長  
藤原 健司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より、当金庫の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。地域の皆さまの温かいご支援により、私どもは日々の業務を着実に進めることができており、あらためて深く感謝を申し上げます。

貴組合におかれましては、昨年10月

借りして、ご支援いただいた様々なステークホルダーの皆さまへ感謝申し上げますとともに、引き続き皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

に「第76回丹後織物求評会」を開催され、組合員の皆さまがこれまで培われてきた技術で丹精を込め織られた丹後織物を披露されるとともに、丹後オーブンファクトリー「NeoTAN」では、タンゴオーブンセンターをはじめ、組合員の皆さまが出演され、府内外にその世界最高レベルのシルクの魅力を発信されました。



また、京都府と丹後織物・西陣織・京友禅が連携され、シルクテキスタイルのグローバル推進により、着物用途に留まらずファッションからインテリア、建築資材など幅広い分野と海外への進出が進みつつあります。加えて、次代を担う若手経営者や後継者の方々の中には、新たなことに挑戦される方々も増え、人とのつながりの中から伝統と先進の融合など、新たな価値の創造にもつながってきています。この流れが今後の新たな市場開拓や販路拡大、更には地域全体の活力にもつながることに期待しているところです。

このような状況下、私共も地域産業の発展に寄与できるよう、皆さまと地域の未来を一緒に考え、地域や事業者の課題解決にあたり、共に歩んで参りたいと決意しているところでございます。

結びにあたり、丹後織物工業組合様の今後ますますのご発展と、本年が組合員の皆さまにとりまして、希望に満ちた実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよりしくお願い申し上げます。

## 京都が誇る伝統産業を未来へつなぐ



株式会社 京都銀行  
頭 取

安 井 幹 也

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2025年を振り返りますと、日経平均株価が史上最高値を付け、設備投資の需要の高まりなど景気回復の兆しをみせる一方、人手不足や賃金動向を含めた雇用問題、物価情勢など、先行き不透明な部分が残る1年となりました。

丹後織物産業は、和装の需要減や職人の高齢化、後継者不在など一部で厳しい環境が続いておりますが、創業300年を超える長い歴史の中で培われた丹後ちりめんの世界に誇る多種多様な織物技術と、地域産業の発展に貢献を続けて来られた丹後織物工業組合様は、日本が誇る伝統・文化を継承しながら、次代の成長へ向けた新たな「挑戦」が続けられています。

昨年10月、盛会の後に閉幕した大阪・関西万博の関西パビリオン京都ゾーンでは、丹後ちりめんを使用した作品展示や製作工程の実演が行われ、国内外

から2900万人を超える来場者に対して、丹後織物の伝統と革新のものづくりを広く世界にアピールする貴重な機会となりました。これらの取り組みをきっかけとし、産地ツーリズムやファクトリーツアー、地域一体型の展示会やオープンファクトリーといった丹後地域の活性化とブランドPRを一層拡大していくことで、地域経済の活性化と長期持続的な成長につながることを期待しております。

日本の伝統・文化・技術に世界中からの注目が集まるなか、丹後ちりめんの卓越したポテンシャルや、シルク需要の増大による高品質な製品への注目も一層高まっております。地域経済は依然として先行き不透明な部分も残りますが、丹後ちりめんが世界に誇る高い技術力を国内外に強く発信し、その伝統を次代に継承していくための新たな「挑戦」を、心から敬服いたします。

当行におきましては、地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する総合ソ

リユーシオン企業を目指す京都フィナンシャルグループの中核として、地域産業の振興や、伝統・技術の次代への承継、地域への投資支援など、経済の活性化に積極果敢に「挑戦」しております。金融機関を取り巻く環境は大きく変容しておりますが、丹後地域をはじめとする「地域の皆さまのお役に立つ」という地域金融機関として、これからも決して変わることは無い使命を果たすべく、全力で取り組んでまいります。当行も成長の加速に向けた「挑戦」を緩めることなく、グループ一丸となって地域の皆さまのご期待に応え、持続可能な地域社会づくりに邁進してまいります。

何卒、本年も宜しくお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



入賞作品決定!!

TANGO TEXTILE EXHIBITION  
第76回丹後織物求評会開催報告

去る10月22日(水)～10月25日(土)までの4日間、「TANGO TEXTILE EXHIBITION第76回丹後織物求評会」を、組合敷地内の特設会場及びTANGO OPEN CENTERにて盛大に開催しました。本年は『未来へ織り継ぐ丹後織物-』をテーマに、伝統ある丹後産地で磨かれてきた匠の技を結集し、斬新で創造性に富む数多くの作品を披露しました。

初日の22日には、多数のご来賓にご出席いただき、オープニングセレモニーを執り行い、華やかに開幕しました。

丹後織物求評会では組合員事業所26社から174点の作品が出品され、「表地部門」・「裏地部門」・「小物部門」・「先染部門」・「テキスタイル部門」の5部門に分けて審査を実施しました。4日間を通じて業界関係者をはじめとする来場者による投票が行われた結果、栄えある経済産業大臣賞には表地部門より篠春織物株式会社の「先染め黒経 ぼかし石畳(小)」が選ばれるなど、計9賞11点の入賞作品が決定しました。

また、一般来場者による投票により、「あなた好み特別賞」「伊達男(ダンディズム)きもの賞」の特別賞2点も決定しました。

さらに、本イベントの目的である基幹産業への「誇り」の再醸成を図るため、求評会出品作品を含む29社・420点の作品を一般公開し、一般消費者や地域住民に丹後で製織される織物の魅力を広くPRしました。

会期中は、公益社団法人京都染織文化協会による染織祭衣装復元制作プロジェクト作品の特別展示をはじめ、精練工場のオープンファクトリー（平日のみ）や織物工房見学の受け入れ、ミニきもの古～いマーケット、ワークショップ、出張販売の他、中川政七商店千石社長による講演会(24日)、Music Fusion in Kyoto音楽祭 室内楽コンサート(25日)など、多彩な関連イベントも同時開催。業界関係者のみならず、地域内外の幅広い来場者にお越しいただき、4日間で延べ850名が来場し盛会のうちに終了しました。

入賞作品は10月28日(火)～31日(金)の期間、TANGO OPEN CENTERにて一般公開を行いました。

また、表彰式は12月25日に開催された当組合理事会の席上において執り行い、各受賞者へ田茂井理事長より表彰状並びに副賞が授与されました。



入賞作品

賞 名	部 門	品 名	出 品 者
経 済 産 業 大 臣 賞	表 地	先染め黒経 ぼかし石畳 (小)	篠 春 織 物 株 式 会 社
中 小 企 業 庁 長 官 賞	小 物	五枚朱子帯揚 無地	株式会社一色テキスタイル
経 済 産 業 省 製 造 産 業 局 長 賞	小 物	先染め帯揚げ 市松菱	篠 春 織 物 株 式 会 社
〃	テキスタイル	綾朱子意匠 斜線流水	田 勇 機 業 株 式 会 社
農 林 水 産 省 農 産 局 長 賞	表 地	先染防染糸 「黒四色六華段」	株 式 会 社 ワ タ マ サ
近 畿 経 済 産 業 局 長 賞	テキスタイル	レーザーカットちりめん	白 井 織 物 株 式 会 社
京 都 府 知 事 賞	表 地	先染めボカシ経 段ぼかし横霞	篠 春 織 物 株 式 会 社
〃	小 物	帯揚 「白影段」	株 式 会 社 ワ タ マ サ
京 都 織 物 卸 商 業 組 合 理 事 長 賞	表 地	シルクモール帯地	田 勇 機 業 株 式 会 社
日本絹人織織物工業組合連合会理事長賞	小 物	紹目帯揚 幸せのペンギン	丸 共 株 式 会 社
日 本 絹 人 織 織 物 工 業 会 会 長 賞	表 地	先染めメッシュ 段ぼかし横霞	篠 春 織 物 株 式 会 社

【特 別 賞】

あ な た 好 み 特 別 賞	表 地	先染防染糸 「黒四色六華段」	株 式 会 社 ワ タ マ サ
伊 達 男 ・ き も の 賞	男のきもの	3色十字ストライプ	江 原 産 業 株 式 会 社



## 投票者の作品を選んだ理由

◎今回も会社名が伏せてあり、先入観なく純粋に生地そのものを見比べて投票できた。

◎重厚感ある黒に散りばめられている金糸がよく映えていて、デザインが良いと思った。もし、自分が着るとしたら想像するのが楽しかった。



◎モダンな感じ、イキな感じ、繊細、斬新な発想。着やすさ、遊び心。

◎光に透かした時の模様が綺麗だった。

◎軽めでしなやかだった。

◎シルク地で洗えるのが魅力。

◎創造性が素晴らしい。

◎織り方を変えるだけで、同じ模様でも見え方が異なるところが面白い。

◎ふくれ織りが綺麗で面白い、清涼感があるのが良かった。

◎色もデザインもよく、自分が欲しいと思った。

◎柄の浮き上がり感、単衣の薄さも程良



く、素敵だった。

◎三重組織で、様々なバリエーションが考えられそうだった。

◎透け感、生地感が上品で良い。

◎遠目と近目で生地印象が変わるところが素敵。

◎深みのある表現力が素敵。レーザーカットの不思議な表現が面白い。

◎白黒だけで、輝きの表現が出ているのが良い。

◎着尺で見かけないインパクトのあるデザインだった。

◎シンプルでスタイリッシュ、ダイナミックな印象。

◎染めてみたいと思った。

◎40年前の紋紙と今の感覚ととてもマッチしていて、目で気に入った。

◎まさにアート、織物の表現の深さを感じた。

◎奥行き、厚みがあり良かった。

◎男物の出品数が少なかった。

## 来場者の求評会・丹後産地に 対するご意見

◎それぞれ素晴らしい織物で感動している。

◎白生地の展示は写真では中々魅力が伝わりにくい、実物を見るとその織物の繊細な表情は丹後の技術だなあと実感した。白の世界も見えてみたくなった。

◎すでに実施されている他事業・他業態とのコラボレーションが、非常に興味深く感じる。

◎色々な世代の方が来やすい雰囲気だった。

◎産地組合としての新たな数々の取り組みに深く敬意を表す。しっかりサポートしていきたい。



◎ちりめんの良さが、次世代に伝わっていくよう期待している。

◎丹後ちりめんにかかれている時間職人さんの手・想いを見せていただき大変勉強になった。

◎前回訪問時よりオープンファクトリーがレベルアップされており、説明もわかりやすく、じっくり話が聞けてすごく良かった。丹後織物の良さがますます伝わった。

◎楽しみ（見所）がたくさんあって、来場者に楽しんでいただけたらと思った。丹後織物の展示の機会が少なくなってきたので、こうして拝見することが貴重な機会でありたい。（組合員）

◎毎年着付け教室の生徒さん達と勉強にきている。

◎企画展の江戸時代前期の復元衣装の展示、丹後ちりめんレトロポスターのきもの展示が良かった。

◎小さなサイズで良いので、触れるスワッチがあれば助かる。

◎丹後ちりめんの周知、発展のため、他とのコラボも考え長く続くように。丹後ちりめん博物館を作り、他の飲食施設も整え、広く全国から来てもらえるようになれば良いと思う。

◎昔の工場に新しい風を吹き込むような造体に感動した。

◎展示の他に、キッチンカーも楽しみにしている。

◎芸術作品とも言える丹後ちりめん。子供達、若い方、海外の方にもっと見てもらいたいものづくりである。

◎別のイベントとのコラボがあれば面白いかも。

◎今後とも継続できることを希望する。

◎丹後は、やっぱり繊維産業。

◎入口の看板がもっと見やすければ入りやすい。

◎日曜日も開催して欲しい。



# 京都府丹後地区絹織物業最低工賃が 令和8年6月1日から改正されます

丹後地区の絹織物業に適用される最低工賃について、京都労働局により令和6年7月から京都地方労働審議会に設置された京都府丹後地区絹織物業最低工賃専門部会において審議が行われ、所要の手続を経て12年振りに改定されることとなりました。

今回の改正の主なポイントとしては、「先染・帯」の区分においてこれまでの「織機の種類」欄の織機の丁数区分がなくなり、「品目」欄に「帯の丁数」の枠組みが3区分設定されるとともに、今回の改正では全ての区分において2,000円と設定されました。

今後、周知期間を経て令和8年6月1日から下記の最低工賃表が適用されます。

## 京都府丹後地区絹織物業最低工賃

- 1.適用する家内労働者** 京都府丹後地区（京丹後市、宮津市、舞鶴市、綾部市、福知山市及び与謝郡をいう。）の区域内で絹織物業に係る織布の業務に従事する家内労働者
- 2.適用する委託者** 前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者
- 3.第1号の家内労働者に係る最低工賃額** 次の表の品目欄、織機の規格欄及び品目の規格欄の区分に応じ、10,000越につき、金額欄に掲げる金額
- 4.効力発生の日** 令和8年6月1日

品 目			織機の規格		品目の規格	金 額	
			織機の種類	開口装置	仕上げ幅		
後 染	正絹無地ちりめん(平織)		小幅力織機	タベット	36センチメートル以上のもの	280円	
	正絹紋織物(もじり織物、縫取織物及び裏地として使用する織物は除く。)			ドビー又はジャカード		380円	
正絹着尺		ドビー又はジャカード			650円		
先 染	(無地物及び黒共帯を除く。)				帯(6丁(※)以下)		2,000円
					帯(6丁超え9丁未満)		2,000円
				帯(9丁以上)		2,000円	

※ 品目の帯欄に括弧書きされている丁数については、平均丁数を意味する。平均丁数とは、帯一本の織り上げにあたり、帯の紋柄、無地部分などを平均して杼(シャトル)が緯糸(よこいと)を何回打ち込んでいるかを表す。平均丁数は、総紋紙枚数(総越数)を総地枚数(総地越数)で割ることにより算出される。なお、総紋紙枚数(総越数)、総地枚数(総地越数)は、それを指すものであればその名称の如何を問わない。

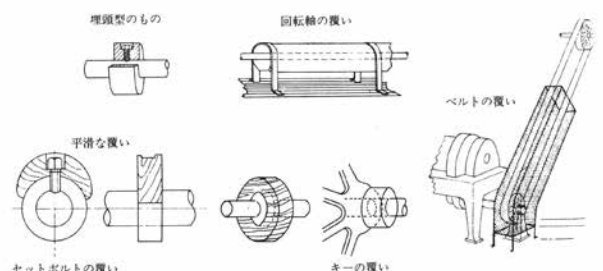
また、総紋紙枚数(総越数)をはじめとする平均丁数を計算し得る情報は、委託者が家内労働者に織りを委託するにあたって必要となる帯設計図面に記載すべきものであるが、これには電磁的記録媒体(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。))に係る記録媒体をいう。)に記録されているものも含む。

### 織機・撚糸機による災害を防止するために

織機の作業では、作業中や点検給油を行う際に、シャフトの止め具などに衣類の紐、袖が巻き込まれ窒息死したり、シャトルにより打撲傷を受けるなどの災害が発生するおそれがあります。家内労働法では織機等による災害を防止するためのガイドラインを策定しており、いま一度安全な作業環境づくりに心がけてください。

#### 織機・撚糸機など作業の心得

1. 原動機、回転軸、歯車、プーリー、ベルト等で、巻き込まれたり、かみ込まれたりするなど作業者に危険を及ぼすおそれがある部分には、覆い、囲い、又はスリーブを取り付けること。
2. 回転軸、歯車、プーリー等に附属する止め具は、埋頭型のものを使用するか、又は覆いを取り付けること。
3. シャトルを有する織機には、シャトルガードを設けること。
4. 作業面は明るく(少なくとも150ルクス以上)すること。
5. 修理、点検、給油などの作業は、機械の運転を止めてから行うこと。
6. 機械に頭髮又は被服が巻き込まれないよう、適当な帽子又は作業服を着用すること。
7. 強烈な騒音のある場所で作業するときには、耳栓を使用すること。





## 地元行政へ要望活動展開

### 令和8年度の組合・産地振興について

組合では、厳しい情勢が続く丹後産地ですが、生産基盤の維持・強化に係る支援や「TANGO OPEN CENTER」拡充整備への支援など、令和8年度における組合事業や織物事業者に対する支援について、西脇隆俊京都府知事、中山泰京丹後市長、山添藤真与謝野町長に対し、正副理事長により要望活動を展開しました。



### 田茂井理事長 京都府知事表彰 組合功労者受彰

去る11月25日、令和7年度の京都府中小企業関係の定例表彰が行われ、組合功労者として当組合理事長の田茂井勇人氏(田勇機業株式会社代表取締役)が受彰され、西脇隆俊京都府知事より表彰状が授与されました。

これは組合の役員または組合関係者として組合の発展に貢献し、その功績が特に顕著な方々を表彰するものであり、田茂井氏におかれましては平成19年に組合の監事に就任以降、理事、副理事長を歴任、令和3年から理事長として組合の運営及び産地の振興発展に努めるなどの功績が評価され、今回の受彰となりました。



# 丹後オープンファクトリー 2025 「NeoTAN」を開催しました！

2025年10月3日（金）から5日（日）にかけて、丹後地域の工場や田畑、街並みを公開する「NeoTAN-丹後オープンファクトリー 2025」が開催され、TANGO OPEN CENTERでは精練工場の見学やワークショップ・展示を実施しました。3日間で延べ約1,500名の皆様にご来場いただき、丹後のものづくりとその現場を広く発信する機会となりました。

10月4、5日にはTANGO OPEN CENTERを会場としてトークセッションを開催、さまざまな立場の参加者を交えた対話を通じて新しい発想を生み、地域産業の今後の方向性や可能性を広げる契機となりました。



## 参加事業者(出展28社)

砂後建設／大西衛生／京都府織物・機械金属振興センター／久美浜観光園／KCSセンター京丹後／峰山／コウジュササキ／シオノ鋳工／創作工房糸あそび／染色工房 嶋津／大善／谷勝織物工場／谷口酒造／タムラ／田勇機業／丹後王国ブルワリー／丹後織物工業組合／丹後蔵／丹後クリエイティブセンター西陣織あさぎ美術館丹後館／TANGOYA／丹菱／日進製作所グループ／白鳥リネン／ヒロセ工業／溝川／矢野／山藤／遊絲舎／与謝野町織物技能訓練センター

## 首都圏での展示商談会事業 丹後織物総合展 Tokyo Textile Scope 2026 Autumn/Winter出展報告



去る11月12日（水）から14日（金）までの3日間、東京国際フォーラムにて日本の繊維・テキスタイル業界の多様性と革新性を体感できる新たな総合テキスタイル展「第2回 Tokyo Textile Scope 2026 A/W」が開催され、丹後から9社が出展しました。

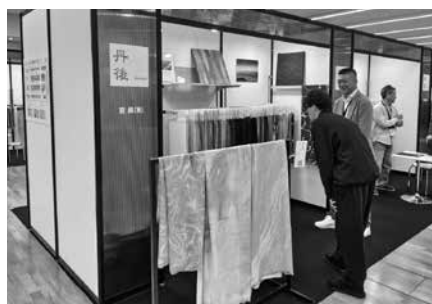
本展示会では、多彩な繊維素材を生み出してきた総合産地・丹後の特徴を活かし、進化を支える匠の技と未来へとつながる丹後織物の可能性を発信しました。来場者に向けて、技術力の高さと丹後織物ならではの魅力をPRしました。

## 参加企業(9社)

(株)大江・小笹織物(新規)・柴田織物・創作工房糸あそび・タカモトシルク(有)・田勇機業(株)・丸仙(株)・宮眞(株)・(株)山藤

【出展社数】281社/219小間 【来場者】:11,675人

概要 ▶ [www.jfwtextile.com](http://www.jfwtextile.com)





## 第4回 京都 染と織の展覧会

西陣織・京友禅・丹後織物の3産地合同で、「第4回 京都 染と織の展覧会」を下記日程にて東京・銀座で開催します。丹後産地からは3社が出展します。

ご来場の際は、是非丹後ブースへお立ち寄りください。皆様のご来場お待ちしております。

### 催事内容

- ◆日 程:2026年2月13日(金) 13:00 ~ 18:00  
14日(土) 10:00 ~ 18:00  
15日(日) 10:00 ~ 16:30

- ◆会 場:時事通信ホール  
(東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル2F)

- ◆主 催:京都 染と織の展覧会実行委員会  
<https://kyotokougei.com/>  
(西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、丹後織物工業組合)

- ◆共 催:シルクコンソーシアム・グローバル推進コンソーシアム

- ◆京都きものフェスティバル参加事業者:  
(有)梅徳機業場(ブースNo.6)・コウジュササキ(株)  
(ブースNo.28)・柴田織物(ブースNo.5)

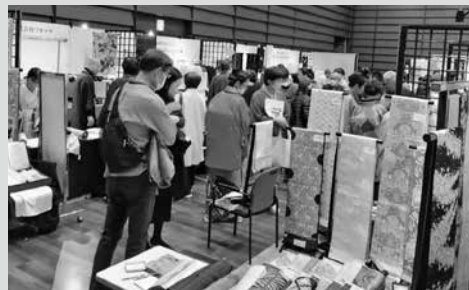
### 同時開催

京都工芸染織展  
西陣・友禅・丹後おこしやすマーケット  
特別茶会

### 特別企画

伝統工芸職人による実演コーナー

※入場には、入場券が必要となります。入場券はウェブサイトからお求めください。お一人様、前売り1,000円、当日1200円。当日券は、ウェブサイトのほか会場にて現金でもお求めいただけます。



### 広告

### CGS2フォーマット対応ジャカードコントローラー

佐和染織工芸 ハリサ工業 エイチ・ケイ・サムテック ダイレクトジャカードにも  
エイチ・ケイ・サムテック SEJ電子ジャカードにも  
これまでのフロッピーディスクを使用しないCGS2フォーマット規格に対応した  
コンパクト設計のコントローラーです。  
光ファイバー仕様の佐和式ダイレクトジャカード・電子ジャカードに対応します



### USBメモリーで製織 CGS2 Mini コントローラー



既存コントローラーの改造も可能で織戻し 一枚戻し 三枚戻し等も今まで通り操作することができます  
USBメモリーに保存した複数の紋紙データを読み出して製織できるようになります

主な操作機能・特徴

一枚送り 一枚戻し 三枚戻し 織戻し 織戻し時交換(杼箱)合わせ 先頭呼出し 越番指定呼び出し  
越番加算・減算呼出し 繰り返しカウンター停止信号 外部APF信号戻し  
USBメモリーに保存したCGS2 データを製織時に読み込み・稼働します(製織準備時間30秒以内)  
USBメモリーに最大 80 柄まで保存・選択製織可能  
エンドレス 2000 口 200rpmまで対応(どちらか片方上限値)  
OS・ハードディスクを使用しない専用基板 高信頼設計 低消費電力

佐和染織工芸の伝統と技術の継承

これまでに国内1万台以上の実績 国内ダイレクトジャカードのスタンダードです  
エイチ・ケイ・サムテックは紋織りジャカード装置を通じて製織現場の信頼性を支え続けてまいります

#### 製品のお問い合わせ先

丹後地区代理店	梅田機料品店	京丹後市網野町浜詰 678-29	0772-74-0616
	小牧機料品店	与謝郡与謝野町算所 463	0772-43-1121
	丹後ダイレクトサービス	与謝郡与謝野町幾地 1652	0772-42-4413
	ダイレクト・今井	与謝郡与謝野町石川 2324	0772-42-4445
	フナト機工有限会社	京丹後市網野町浜詰 678-33	0772-74-0347

#### 製造元

有限会社エイチ・ケイ・サムテック 岡山県美作市北山1001 0868-73-6166

# きもの奥さま よいたさなえ



## 編集後記

○新年あけましておめでとございませう。  
現在、風邪・コロナウイルス感染症・インフルエンザが流行している。これらの感染症は症状が重なることが多く、自己判断が難しいため早期に医療機関を受診することが重要である。かくいう自分も、症状が重なることはなかったが風邪をこじらせてしまった。皆さんも健康には十分気を付けて正月を過ごしていただきたい。

○2026年は丙午（ひのえうま）。「丙」「午」ともに火の性質を持っており、勢いのある良い年とされているが、その分勢いが強く出すぎてトラブルや衝突も起こりやすいとも言われている。常に冷静さを保ちつつ、パワフルに行動していきたいものである。

(MU)

## TANGO OPEN CENTERにて

### 「Music Fusion in Kyoto 音楽祭」 室内楽コンサートを開催!

京都府及び Music Fusion in Kyoto 音楽祭実行委員会では、府内各地で国内外の音楽家による音楽鑑賞やこどもの頃から音楽に親しむ機会を創出する一環として、京都府内の各市町村にてオリジナルオーケストラコンサート、室内楽コンサート、連携事業を開催するとともに、奏プログラムとして国内外の音楽家が府内小中学校等を訪問し、鑑賞型・体験型の公演や指導を実施されています。



2年目となる本年、「Music Fusion in Kyoto 音楽祭」室内楽コンサートの京丹後会場（共催：京丹後市・京丹後市教育委員会）が10月25日（土）、TANGO OPEN CENTERにて開催されました。当日は、地元の皆様をはじめ他地域からも多くの音楽ファンが来場され、会場は満席となりました。

コンサートでは『丹後ちりめんとチェンバロの織りなすハーモニー』と題し、本音楽祭の音楽監督を務めるヴァイオリニスト・豊嶋泰嗣氏と日本を代表するチェンバロ奏者・中野振一郎氏のトッププレイヤーによる卓越した演奏が披露されました。丹後の織物と上質な音色が呼応し合う、特別なひとときとなりました。

気さくなお二人による曲目紹介を交えたトークと、繊細で深みのある演奏に来場者は魅了され、心ゆくまで音楽の世界に浸っていました。

